

公益社団法人全国出版協会 2022年度事業計画書

(2022年度 2022年4月1日から2023年3月31日まで)

1. 出版物の調査、研究、統計および情報提供に関する事業

(公益目的事業1)

1) 出版物の発行・販売動態等の調査研究および統計データの作成

2) 分野別出版傾向等の調査分析

3) 電子出版市場全般の調査・研究

『出版月報』2016年1月号で出版科学研究所(以下、出科研)として初めて電子出版市場規模の推計を発表して以後、2018年度からは年2回の推計値発表とし、月報にその都度、掲載している。現在では従来の紙の出版統計だけでなく、出科研発表の電子出版市場の統計も広く関係業界などで活用されるようになった。今後も出版社、電子出版取次、電子ストアなどへの取材を基に、最前線の動向を鋭意、発表していく方針である。

4) 出版科学研究所の運営と出版に関する調査研究と成果の発表

①第1項の目的を実現するため、出版物の動態調査および関連する事態の調査研究機関としての出科研の運営を強化する。

②出版物に関する調査研究をもとに、下記5)の定期雑誌および書籍を出版する。

③販売対象は、出版社、取次、書店、印刷製本、紙関連、金融、広告代理店、調査研究機関、新聞、放送、図書館およびメディア研究者などであり、読者アンケートなどにより誌面のいっそうの改善を図る。

5) 刊行物

①出版業界の統計とトレンドがわかる情報誌『出版月報』

○刊行方式：月刊・毎月25日発行・年12冊・B5判・平均52ページ・直接購読制、単冊2,000円+税、年間購読料21,898円+税

○内容：①注目される市場のマーケティングレポート(特集)②書籍・雑誌の出版傾向③ベストセラー情報とその分析④BooksRadar、MagazineRadar 書籍・雑誌の新刊情報・トピック⑤マルチメディア関連、電子出版の情報等⑥書籍・雑誌の出版統計・販売統計

②出版関連の新聞記事クリッピング情報誌『ニュースの索引』

○刊行方式：月刊・毎月25日発行・年12冊・B5判・平均66ページ・直接購読制・単冊1,400円+税、年間購読料15,231円+税

○内容：朝日、読売、毎日、産経、東京、日経、日経産業、日経流通の8紙から出版関連記事をクリッピングし、1カ月間をジャンル別に整理収載している。

- ③出版傾向分析レポート&出版統計資料『出版指標 年報 2022年版』
○刊行ペース等：暦年版・5月下旬発行・年1冊・B5判・390ページ・直接購読制／一部書店売り有・頒価13,500円+税
○内容：①1967～2021年の出版データ（新刊点数・販売部数・販売金額・返品率）②出版業界の主な動き③書籍・雑誌のジャンル別出版傾向解説④ジャンル別出版統計⑤出版関連資料⑥1946～2021年ベストセラーリスト、等を収録
- ④不定期刊行物
○「出版セミナー」の講演録2冊
「出版セミナー」の講演内容をまとめた冊子で、会員配布のほか、個別販売も行う。
※「雑誌の都道府県別配送量」は2021年度版をもって紙媒体での刊行を終了し、今後は電子版（PDF等）として発行を継続する。

6) 刊行物の定期購読会員促進等

- ①21年度に実施した全協ホームページのリニューアルで一定の成果を得たのを受けて、22年度はホームページのさらなる充実を進め、会員増強、販促にプラスするよう努める。
②刊行物の定期購読会員獲得促進のためのDM、特集毎の告知を行う。
③「月報」電子化による電子書籍版の販売に努める。
④記事・数表データの電子版（PDF等）販売を検討する。
⑤出科研および全協の認知度を高めるためさらなる広報活動に努める。

7) 出版セミナーの開催

出版産業の現状を分析し将来を考える「出版セミナー」を2回開催する。

8) 出版物に関する情報提供（レファレンスサービス）

新聞・放送・雑誌等マスコミからの取材、出版業界および関連業界や一般からの出版に関するさまざまな問い合わせに対応し、出版業界に対する理解が深まるよう努める。

2. 文字・活字文化の振興と啓発および調査研究に関する事業

（公益目的事業2）

（公財）高橋松之助記念顕彰財団の顕彰事業に対し、全協として従来の人的協力に加え、広報面での協力や協賛活動を行うことにより、学校における「朝の読書」活動のさらなる展開と、全国の多様な読書推進活動の顕彰・支援により、文字・活字文化の振興に寄与する。